

福祉おもいやり



美味しいパンはいかがですか～？

社会福祉法人一隅を照らす会 りんりん舎(滝沢ニュータウン地区内)は、昼食時間の盛岡北高校を訪問し、パンやデザート等の商品販売を行っています。

この取組みは、施設利用者の就労機会を通じ、高校生に対して、“障がい”の理解を促すことを目的としています。生徒による商品購入はもちろん、有志の生徒が食品トレーの消毒や商品の袋詰めを行い、作業を通じた施設利用者との交流を図っています。

両者は今後も継続的な交流を目指しながら、活動を進めていきます。

第 **206** 号

令和4年1月15日発行

発行／社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会

〒020-0654岩手県滝沢市中鶴飼47番地1
TEL 019-684-1110・FAX 019-684-1121
Eメール info@takizawa-shakyo.or.jp
ホームページ http://www.takizawa-shakyo.or.jp/

写真は、盛岡北高校2年 平野颯汰朗さんよりご提供いただきました。
滝沢市社協では市内の小・中・高等学校(全15校)を社会福祉協力校に指定し、各校の活動助成を行っております。この事業には、赤い羽根共同募金配分事業費の一部が充てられております。

主な内容

- 滝沢市社会福祉大会開催報告…………… ②③
- 各種事業のお知らせ・ご案内…………… ④⑤
- あなたの地域の“住民活動”…………… ⑤
- 相談日程・寄附・川柳…………… ⑥

第35回滝沢市社会福祉大会

住み慣れたところで安心して暮らすために、
支えあい助け合う地域づくりをすすめよう



第35回滝沢市社会福祉大会
被表彰者 (敬称略)

第35回滝沢市社会福祉大会を11月18日、滝沢ふるさと交流館で開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から規模を縮小し、約80名の参加のもと、式典のみ実施しました。

長年にわたり社会福祉の発展に功績のあった個人13名・3団体の皆様を表彰し、大会宣言の採択を行いました。

◆**社会福祉事業功労者・団体**
 〓 多年にわたり社会福祉事業従事者として社会福祉事業の推進に貢献し功績が顕著な方・団体

◆**民間社会福祉施設役員**
 佐藤 泰美 (篠木)
 堰合 輝美 (大沢)
 藤村 美貴子 (鵜飼)
 藤澤 美代子 (大沢)
 福田 春代 (鵜飼)
 寺島 さち (元村)
 横欠 由紀子 (鵜飼)
 菅原 麻希 (鵜飼)
 菊地 裕子 (鵜飼)
 三枚堂 恵子 (元村)

◆**社会福祉協議会特別会員**
 岩手ヤクルト販売(株)(盛岡市)
 (有)細川鉄工(小岩井)
 (株)マイヤ滝沢店(鵜飼)

◆**共同募金運動功労者**
 〓 共同募金運動の推進に積極的な役割を果たした方

石川 元 (法誓寺)
 石川 勝美 (川前)

◆**褒賞**
 〓 多年にわたり在宅要援護者の介護に貢献した方

藤村 佐和子 (長根)

◆**令和3年度滝沢市社会福祉作文コンクール**
 今年度は社会福祉大会の席上での表彰式は実施できませんでしたが、滝沢市内小中高等学校から一、七八三名の校内応募があり、コンクールへ八十五点の作品の応募がありました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

◆**小学1年生の部**
 〓 最優秀賞
 一本木 下村 希空

〓 優秀賞
 柳 沢 新井 桜
 篠木 伊藤 巧人

◆**佳作**
 篠木 高橋 悠翔

◆**小学2年生の部**
 〓 最優秀賞
 篠木 武田 雄志

〓 優秀賞
 一本木 三浦 彩愛
 篠木 青山 優希

◆**佳作**
 滝沢二 三上 寧々

～ 大会宣言 ～

- 一、地域住民がいつでも気軽に集い、住民同士の結びつきを深める活動が展開できる地域福祉活動拠点の確保を目指します
- 一、地域福祉活動計画に基づき、地域住民の参画のもと、行政と協働し、社会福祉関係者が一丸となって、地域福祉分野の更なる充実・強化を図ります
- 一、誰もが地域で安心して暮らすことができるよう、権利擁護に対する意識醸成を図り、関係機関との支援体制の構築に努めます
- 一、福祉教育の推進やボランティア活動の振興などを通じて、住民相互の「支えあい・助け合い」活動を支援し、災害にも備えた安全安心なまちづくりを推進します
- 一、福祉分野のみならず、医療・保健・教育・労働など、多種多様な分野の組織、機関とのネットワークを強化し、多様なサービスの提供や活動の展開に努めます

滝沢二 十二林 瑞希

滝沢二 大峠 琉輝

◆小学3年生の部

《最優秀賞》

鵜飼 菅原 歩

《優秀賞》

鵜飼 長内 柊門

一本木 吉田 優衣

《佳作》

滝沢東 中野 こはる

篠木 菊地 美桜

篠木 杉下 幸祈

◆小学4年生の部

《最優秀賞》

滝沢中央 松浦 旺生

《優秀賞》

滝沢東 山内 詩

鵜飼 岩崎 ななみ

《佳作》

滝沢中央 小田 達登

滝沢中央 佐藤 陽向

滝沢 細田 英里奈

◆小学5年生の部

《最優秀賞》

滝沢 田代 鈴真

《優秀賞》

柳沢 佐々木 愛心

鵜飼 佐藤 敬人

《佳作》

滝沢中央 澤 歩花

滝沢 小野 碧

鵜飼 國分 柚杏

◆小学6年生の部

《最優秀賞》

鵜飼 佐藤 愛結

《優秀賞》

滝沢中央 工藤 あかり

滝沢 紺野 海沙

《佳作》

滝沢中央 寺舘 敏樹

滝沢二 柏田 星哉

鵜飼 内洞 柚杏

◆中学生の部

《最優秀賞》

滝沢 1年菊池 ひなた

《優秀賞》

滝沢二 1年佐瀬 菜摘

滝沢 2年藤澤 英奈

《佳作》

滝沢 1年駿河 夢羅

滝沢 1年清水 藍紗

滝沢 3年岩本 怜

◆高校生の部

《優秀賞》

盛農高 1年齊藤 風歌

《佳作》

盛農高 2年若澤 陽夏

盛農高 1年菊地 未紗希

第74回岩手県社会福祉大会

11月2日に開催された第74回岩手県社会福祉大会において、滝沢市からは次の方々が受賞されました。(敬称略)

◆岩手県知事表彰

渡辺 祥子

◆岩手県知事感謝状

佐藤 サツ

◆岩手県社会福祉大会会長表彰

《社会福祉事業功労者》

中井 忠則

《共同募金運動功労者》

下田 富幸

佐々木 等

川村 尚雄

《永年勤続功労者》

柴田 千尋

上森合 由香

高橋 一恵

◆岩手県民生委員児童委員協議会長表彰

細川 俊子

高橋 美貴子

主濱 ヒミ子

中村 文雄

下長 美保子

関 進

塚本 潤一

井上 ゆり子

石塚 公美子

三上 久美子

坂田 芳弘

丸山 君男

鷹鷲 尚巳

佐々木 行夫

砂沢 得子

菅原 正博

伊藤 順子

木登 國雄

瀬川 拓郎

大道 久美子

佐々木 義教

伊藤 紀子

思いやりのあふれる作品がたくさんありました。入賞作品を掲載した作品集がありますので、ご希望の方は社会福祉協議会へご連絡下さい。数に限りがありますのでお早めどうぞ。

令和3年度滝沢市社会福祉作文コンクール

※最優秀作品の中から一作品を紹介いたします。

【小学六年生の部 最優秀賞】

一人一人の思いやりから 鵜飼小学校 佐藤愛結

四年生のときにキャップハンディ体験をしました。始めに、体育館で車いすに乗りました。友達に後ろから押ししてもらい移動しましたが、一人で車輪を回して進むのは大変だろうと思いましたが、体育館のゆかはずらなものでこわくありませんでしたが、もし上り坂や下り坂だったら、こわいし不安だと思いました。それから、アイマスクを着けて教室の中を歩きました。友達の手をひいて、声をかけてくれるのですが、周りの様子が分からなくて、なかなか足を前に出すことができませんでした。私はそれまで、障がいについて考えたことがありませんでしたが、体験をしてみても、初めて障がいがある人の不便さや不安な気持ちが分かりました。

この学習をしてから、私にできることを考えるようになりました。まず、地域の様子に気をつけるようになりまし。地域には障がいのある人のためのいろいろな設備がありました。通学路には点字ブロックがしかれていて、目の不自由な人が安全に歩くための大事なものです。また、スパーマーケットなどの駐車場には、足の不自由な人のための駐車スペースがあります。ところが、点字ブロックの上には自動車が停めることがあります。車いすのマークがあるのに、気にせず駐車している車を見たこともあります。何のためにあるかは分かりながら、自

分勝手な行動をしてしまう人がいることは残念だと思いました。障がいのある人の不便さを想像し、だれでも暮らしやすい地域にしたいです。

次に、障がいのある人を見かけたらず伝えるようにしたいと思うようになりました。困っている人がいたら勇気を出して話しかけたいです。ただ、そのときに相手の気持ちを考えることがとても大事だと思います。人によって感じ方や考え方は違います。障がいのある人もそれぞれ不便なことや不安なことがちがうはず。もしかすると、障がいがあっても、なるべく自分でやろうと思っている人もいます。障がいのある人もそれぞれ無理ありません。相手はどんな気持ちだろうとよく考え、自分にできることをしたいです。

障がいのある人のために、私ができることは何だろうと考えているうちに、一番大事なことは思いやりだと気付きました。少しの思いやりで笑顔は生まれます。一人一人が思いやりの気持ちをもてば、笑顔は広がっていきます。つい、自分のことだけを考えてしまったり、自分の気持ちを押しつけてしまったりすることがあります。おたがいのことを大切にすることが、思いやりの気持ちです。

一人一人の思いやりから、笑顔がどんどん広がり、だれもが気持ちよく暮らせるようになりたいです。

滝沢市社会福祉協議会

住所 滝沢市中鵜飼 47-1
滝沢市市民福祉センター内
TEL 684-1110 FAX 684-1121
Eメール: info@takizawa-shakyo.or.jp

お知らせ・ご案内 Information

『親子サロン チャチャチャ』へ遊びにおいでよ!!



12月16日、鵜飼地区親子サロンでクリスマス会を行いました。

9組の親子にご参加いただき、とても盛り上がりしました。お友だちやボランティアの方とのおもちゃ遊び、バルーンアートなどで楽しみました😊
親御さん同士、子育てに関する情報交換など交流もできますので、ぜひ遊びに来てくださいね!

- ★対象★ 滝沢市内及び近郊にお住まいの未就学児のお子さんとその保護者
- ★内容★ 自由遊び（お友達との交流）、絵本の読み聞かせ、リズム体操等
- 【鵜飼地区】 会場：滝沢市市民福祉センター（滝沢市中鵜飼47-1）
毎月第1・3木曜日 10時～11時30分
- 【北部地区】 会場：北部コミュニティセンター（滝沢市巣子148）
毎月第1・3火曜日 10時～11時30分



滝沢市 つながり・つながる・フードパントリープロジェクト

滝沢市社協では、今年度2回目の「滝沢市つながり・つながる・フードパントリープロジェクト」を12月15日（水）、滝沢市市民福祉センターを会場に実施しました。コロナ禍にあって、普段から家事や食費といった生活上の負担が大きいひとり親世帯を支援するために食料品等を配布する活動です。

募集定員を市内のひとり親世帯40世帯としていたところ、今回は、民生児童委員を通じて79世帯からの申し込みがありました。この活動に参画している団体との協議・ご協力により、申し込みのあった79世帯すべてを対象に229名分の食料品をお渡しすることができました。

食料品等の集約・仕分け作業から配布当日の対応まで、

民生児童委員をはじめとした滝沢市民延べ56名の方々にボランティアとしてご協力をいただきました。

このプロジェクトは、ひとり親世帯と地域が「つながる」という趣旨に賛同する地域の個人と団体が、一致協力して活動を行うことによって「つながり」、コロナ禍の難局を地域のみみなで支えあって乗り越え、地域の結びつきを強めていくことを大きな狙いとしています。

お渡ししている食料品等は、岩手県共同募金会の「赤い羽根 子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン」助成金の他、市内外の個人・団体から寄せられる寄附金および食料品等により賄われています。



《ご協力いただいた皆さま（令和3年度第1回、第2回）》 ※敬称略、順不同

滝沢市民生児童委員連絡協議会 滝沢市商工会 滝沢市商工会女性部 滝沢市地域婦人協議会
（株）流通技研 大釜土日ジャンボ市 いわて生協 COOPフードバンク（株）マイヤ滝沢店
東林寺 みちのくプロレス 清雲院 米澤農園 一般社団法人ミンナソラノシタ
NPO法人今が一番館 NPO法人フードバンク岩手 NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ
社会福祉法人岩手県共同募金会 滝沢市内外の個人および団体（現金寄附、現物寄附、作業協力）

盛岡青年会議所と県央広域8市町社協が締結

災害等の連携に関する協定合同調印式 が行われました

12月15日、盛岡市総合福祉センターを会場に、盛岡青年会議所と滝沢市を含む県央広域8市町の各社会福祉協議会で「災害等の連携に関する協定」を締結しました。

締結により、大規模な災害が発生した際に、社会福祉協議会が設置運営する災害ボランティアセンターで、青年会議所より人的支援や支援助資等の調整、仕分輸送に協力してもらうことが可能になります。また、平常時から防災や被災者支援に関する研修・訓練等を開催することで、相互に連携・協力を図ることが期待されます。

盛岡青年会議所の田屋館理事長は「協定締結を嬉しく思う。盛岡広域圏でも、いつ災害が起きても不思議ではない。青年会議所は地域の課題を解決する団体。行動を起こし、包括的に課題を解決したい。」と述べられました。

岩手県では東日本大震災以降も、豪雨や台風等の自然災害が続いています。災害ボランティアセンター

は、災害の規模の大きさにより運営が長期化し、現状のスタッフ要員では対応しきれないことが予測されます。今回の締結を機に、青年会議所の支援協力のもと、災害時、迅速な被災者支援につなげられるよう活動してまいります。



協定書を掲げる滝沢市社会福祉協議会佐藤会長と盛岡青年会議所田屋館理事長（写真中央）

ご存知ですか？ あなたの地域の「住民活動」

住み慣れたところで、住民の皆さんがつながり、地域での支え合いを強めていくために、当会では、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を1名配置して、身近な地域での通いの場づくりや住民活動のお手伝いを行っています。

上の山ボランティアの会の活動を紹介します。

空き家の環境整備活動をボランティア7名で行いました。

この空き家は、家主が仕事の関係で定期的に帰宅して整備されていましたが、コロナ禍で2年間帰って来られない状況が続き、草木が伸びたままになっていました。そこで、近所のボランティアの会のメンバーの声掛けで、家主と一緒に活動することになりました。

家主は「あと2年くらいで帰って来る予定だが、地域にこのような会があることはありがたい。帰って来たときは自分もメンバーに入っ
て協力したい。」と話していました。
支えられる側になったり支える側になったり、お互いさまの助け合い活動を発見しました。



頼もしい上の山ボランティアの会の皆さん

まずはできることから
実行を！

◀半日がかりで作業
が行われました



山本コーディネーター

■対象：上の山自治会会員で手助けが必要な方。（年齢不問）

■活動内容：作業料金表に基づき、依頼があった時、有償で活動する

無料相談所のお知らせ ご予約 ☎684-1110

市民の皆さまを対象とした各種相談所を開設しています。
ひとりで悩みを抱え込まず、一緒に考えましょう。
プライバシーは厳守します。



相談名	月日	時間	会場	予約締切日
くらしの相談 くらしの相談員が、困りごとの相談に応じます。	1月25日(火)	10:00-12:00	滝沢市市民福祉センター (中鶴飼47-1)	予約不要
	2月 8日(火)			
	2月22日(火)			
	3月 8日(火)			
相続・登記相談 司法書士が、相続や登記に関する問題などに応じます。《ご予約が必要です》	2月10日(木)	10:00-15:00	滝沢市市民福祉センター (中鶴飼47-1)	2/ 8
	3月10日(木)			3/ 8
法律相談 弁護士が、財産や債務問題、その他生活のトラブルなどの問題に応じます。 《ご予約が必要です》	2月 1日(火)	14:00-16:00	滝沢市市民福祉センター (中鶴飼47-1)	1/28
	2月15日(火)	10:00-12:00		2/10
	3月 1日(火)	14:00-16:00		2/25
	3月15日(火)	10:00-12:00		3/11

お気軽にご利用ください ～車いす貸出のご案内～

市民の皆さんを対象に、高齢や障がい、ケガ等を理由に一時的に車いすが必要な方へ貸出を行っています。

■利用料：無料

■貸出期間：2か月以内

貸出可能な在庫台数には限りがありますので、利用を希望される場合は、事前に社会福祉協議会へご相談下さい。なお、貸出は自走式タイプの車いすとなります。



- 11月1日から12月31日まで、次の方々からご寄付いただきました。
- 《法人のために》
- 滝沢歌謡一座 様 26,966円
 - 滝沢市精神保健福祉会 様 2,000円
 - 滝沢市精神保健ボランティアあんずの会 様 5,000円
 - 大沢なごみの会 様 3,000円
 - 匿名 3,000円
 - 匿名 1,800円
- 《福祉基金》
- そば真 様 (募金箱より) 3,604円
 - 滝沢市市民福祉センター(募金箱より) 2,951円
- 《使途指定寄附》
- フードパントリープロジェクトのために 100,000円
 - 東林寺 様 10,000円
 - 匿名 10,000円

ご寄附ありがとうございました

次回課題 「金」
応募先 〒020-10654
滝沢市中鶴飼47-1
滝沢市社会福祉協議会
「福祉川柳」係りまで
締め切り 二月十日
投句数 ひとり三句まで
(掲載は五句となります)
※作品を添削する場合があります。
ます。氏名には振り仮名を。

課題 「暮らし」
一本木仙人 選

「ああおいし」
一人暮らしの 独り言
月見 静 (菓子)
定年後 年金暮らし
板につく

物価高 暮らし見直し
仙波 幸男 (川前)
粗衣粗食
小川 裕二 (元村)
今がいい 暮らしを老婆が
左右する

やり繰りで 暮らし支えた
石野 航 (川前)
妻感謝
井上 弘 (元村)

